令和５年度　下阪本小学校　　学校自己評価

３：よくできている　　２：できている　　１：あまりできていない　　０：まったくできていない

【○は重点項目】			評価項目(大津市学校教育評価表に準ずる)	評価指標	評価（1学期・年末値）		関係者評価
①	主体的・対話的で深い学び	1	支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践に務めた。	教科指導や課外活動等を通じて、認め合い、支え合い、高め合う仲間づくりに努め、自立した児童を育成している。	2.2	2.1	・落ち着いた雰囲気、学級風土が感じられる。反面、少し静かでおとなしい感じがした。もう少し元気で活発な雰囲気がほしい気がする。 ・校内研の中で、動画を残す（１人１授業）ことは参考になった。中学校でもこういった研究をしていきたい。 ・歴史等について、地域の者がお話できると良いかも知れない。 ・使いやすいＩＣＴについて、地域として情報発信できると良いかと思う。 ・デジタル教科書に変わっていくと良いと思う。 ・コロナが５類になり、学校行事もコロナ前に戻り活気が出てきたように思う。 ・１年から６年までの一貫した取り組みは難しいと思うが、来年度の取り組みを、幼稚園にも教えてほしい。 ・最近の授業にはＩＣＴがうまく取り入れられている。 ・合い着の都度、授業風景を参観しているが、落ち着いた印象である。 ・地域社会の意見を取り入れる等、幅広い感覚で教育と向き合っていると思う。 ・校内研でお互いの授業が分かり、より良い授業が行えると思う。 ・運動会の応援合戦は子どもたちで考えて練習したと聞いた。みんなが協力していて素晴らしかった。先生方の指導の賜物だと思う。
		2	協同する体験・伝え合う喜び・コミュニケーション能力の育成を図る授業の工夫改善を行った。（ＩＣＴの活用含む）	学校の教育目標の具現化に向け、教育計画の立案・実践・評価・改善を行うことができている。	2.1		
		3	主体的・対話的で深い学びを追究する授業研究や研修会に参加した。	自己研修に努めるとともに、校内・校外研修にも意欲的に参加している。	2.1	(2.0)	
2	道徳教育の充実	4	生命尊重や人権尊重等豊かな心を育むとともに、いじめを許さない態度など道徳的実践力を育てる活動を実施した。	特別活動をはじめ、全ての教育活動で「いじめを許さない」態度を育てる活動を実施している。	2.6	2.3	・人権教育への積極的な取り組みを今後も期待する。学校から人権教育の取り組みを地域に発信してほしい。 ・道徳参観にて、授業に取り組んでいる姿勢も良く、楽しそうに授業を受けられていると感じた。今後も継続を希望する。 ・仕事をしていく中での文化の違い（地方・海外）について触れられると、子どもも自由な発想が増えるのではないか。 ・保護者が学校の道徳教育を理解しているかが不明。 ・コロナ以降、大人社会も「お互い様」といった風潮がなくなり、思いやりや優しさに欠ける社会となってきている。子どもには思いやりのある人間に育ってほしい。 ・道徳参観は素晴らしい取り組みだと思った。 ・幼少期の道徳科の授業は重要である。 ・いじめを許さないという雰囲気が全体として感じられる。 ・子どもたちの素直な意見が出る授業をこれからもしてほしい。 ・
		5	道徳科の授業・評価に関する研究や資料の開発・整備・交流に取り組んだ。	年に一題材以上、新規資料・教材開発を行い、道徳科授業の充実を図っている。	1.8		
		6	保護者等への道徳科の授業公開を行った。	年に一回以上、学習参観日に道徳科の授業を公開している。 （参観実施が不確定のため今年度も努力指標）	2.5	(2.3)	
3	体力づくり	7	たくましい心と体を育てる魅力ある授業の工夫改善を行った。	体育的行事や授業（保健含む）の中で創意工夫し、運動能力や体力向上に向けて取り組んでいる。	2.2	2.2	・児童の体力低下が懸念される。体育の授業の充実とともに、あらゆる機会を通して体力づくりの機会を作っていきたい。 ・なわとびなどの上達が意識できていることは意欲につながる。 ・いろいろなトレーニングを継続されているということで、中学校でも同様、授業のスタート時にトレーニングを行っている。１年間継続できるものが良いと思う。 ・なわとび大会は良いアイデアだと思った。今後、参加者が増えることを期待する。 ・なわとびのような目標を作るのは良いアイデアだと思った。 ・体育の授業は教員１人で問題ないのか？ＰＴＡや地域の支援を得られないか？ ・体力の向上に向けて、児童に目的を持たせることが必要。 ・引き続き指導の工夫をお願いする。英語も大切だと思うが、まずは国語。国語学習の充実を望む。 ・運動会の取り組みでは、様々に考えて取り組んでいると思った。 ・家庭では外で運動をする機会が減ってきており、授業や休み時間の運動、あそびの充実は良いことである。 ・現在も未来も子どもを支える中心は体力づくりから！
		8	体力づくりを推進する運動実践に取り組んだ。	体育授業の充実や、休み時間等の運動遊びを充実させるための環境整備等を行い、体力向上につなげる取り組みをすすめている。	2.2		
		9	体を動かす気持ちよさを体験させ、進んで体を動かそうとする意欲の育成に務めた。		2.2	(2.2)	
④	指導改善（組織的・計画的）	10	学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善を行った。	児童一人一人の力を伸ばすため、教科担任制や学習規律の統一を含め、個に応じたきめ細かな指導の充実に努めている。	2.1	2.0	・いろんな先生に接し、学ぶ機会として今後も教科担任制や少人数指導、学級担任１年制等を積極的に取り入れる工夫をしていただきたい。 ・地道な取り組みであると思うが、頑張ってほしい。 ・働き方改革は中学校でも難しい改題だが、中学校では学期に１回スーパーリフレッシュデーとして、午前中授業とし級食後下校という日を設定している。教職員は時給を取って帰宅したり定時に帰るようにしている。小学校も保護者等に周知してみてはどうか？ ・教員を増やしてほしい。 ・個々の教員と接する機会が少ない。 ・いろんな分野で連携している。また、地域の行事に多くの子どもが参加してくれ先生方の指導に感謝している。 ・個に応じたきめ細かな指導は大いに評価できる。 ・先生方の無理のない範囲で働き方改革を進めてほしい。
		11	教職員の指導力、情報活用能力、及び組織的な教育力の向上に務めた。	OJTやメンターチーム等における、校内研修体制が整備され、人材育成に向け定期的に実施されている。	2.1		
		12	働き方改革の取組と教育活動の質の改善に取り組んだ。	勤務時間管理や会議精選等による児童と向き合う時間の確保、モチベーションの向上に計画的に取り組んでいる。	1.8	(2.2)	
⑤	家庭・地域との連携・協働	13	保護者の子育てに対する積極的な支援を行った。	相談しやすい環境・体制を作ったり、SCやSSW等関係機関に接続したりしている。	2.1	1.9	・地域行事、学校活動等において地域への積極的な参加、協力に感謝している。教職員や保護者の方の理解と協力が不可欠。今後もお願いしたい。 ・地域の高齢の方から下阪本の昔の話を聞く機会をもう。ずいぶんと変化があったことを高齢者も伝えたがっていると思う。 ・ＰＴＡでも保護者参加型のイベントを企画していく予定。 ・地域とＰＴＡが接する機会を増やしたい。 ・評価委員の中に、子どもが学校に行っている人が少ないと感じる。 ・幼小中の連携が戻ってきていると聞いている。学びや遊びを通して学んでほしい。 ・様ののがさず連携していると思う。 ・地域の行事に子どもたちが多く参加してくれ、先生方の支援に感謝している。 ・定期的に地域との情報交換をすることが大切だと感じている。 ・文化祭への作品展示に、学校の子どもたちが意欲的に取り組んでくれ良かった。またそれに対して地域参加者がコンテストに参加するという新しい連携の取り組みができ、成果を感じました。 ・木の岡に古墳があり、古くから住み良い場所であったことがわかる。中世では京都にのぼる要衝の地であったことも伝えていくことができればと思う。
		14	保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域の人材活用を行った。	情報を発信したり、授業や教材の開発に地域の人材などを活用したりして、特色のある学校づくりを推進している。	1.9		
		15	防災教育の推進、感染症対策の推進等、安心・安全な学校づくりに取り組んだ。	家庭や地域関係機関、団体との連携を図りつつ、具体的な取組が行われている。	1.8	(2.2)	
6	保幼小中の連携	16	子どもの校種間交流や教員の出前授業を実施した。	指導方法の違いや発達を捉えた環境構成について理解を深めている。	1.8	1.8	・日吉学推の充実をお願いしたい。教職員の相互交流は、児童生徒、地域へ好影響を及ぼす。 ・幼小中の連携について、中学校との関わりを多くする必要がある。 ・子どもたちの問題行動については学校全体で共有し、対応をしてほしい。 ・幼稚園も参観をさせていただくことで幼小の連携した学びに気付く一歩となった。
		17	校種間の授業公開や合同研修会に参加した。	日吉学推等を利用し、積極的に授業公開や研修会に参加している。	2.0		
		18	保幼小中接続期の教育課程の編成校種間のカリキュラム研究に取り組んだ。	保幼小中接続期のカリキュラムについて理解を深め、指導計画の作成や実践・評価をしている。	1.6	(1.9)	
7	生徒指導	19	いじめや暴力行為、不登校等生徒指導上の諸課題の早期発見、日常的な予防指導に務めた。	児童との関わりやアンケートを活かし、配慮を要する児童について組織的に対応している。	2.4	2.3	・児童や保護者への寄り添った指導、姿勢を大切に。 ・私たちと年代が異なるため、いじめの定義が違っていると感じる。教員には負担が大きいのではないかと心配している。 ・いじめ等の事案については、学校だけでなく地域にも発信をしてほしい。 ・個に応じた指導は難しいと思うが、頑張ってほしい。 ・配慮を要する児童に対し、組織的に対応していることは大いに評価できる。 ・いじめに対してはこまめに対応されていると思う。 ・保護者対応は大変かと思うが親子共々学校のことが好きになる雰囲気作りを心がけてください。
		20	校内の生徒指導、教育相談体制の確立、いじめ対策の組織的な対応を行った。	教職員全体で児童の状況についての理解を共有し、生徒指導に取り組む体制が整備されている。	2.3		
		21	家庭、地域、関係機関との連携による指導ができた。	保護者や地域社会、関係機関（SC,SSW含む）等との連携協力の下で生徒指導が行われている。	2.2	(1.8)	
8	特別支援教育の充実	22	個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用を図った。	個別の教育支援計画や個別の指導計画が適切に作成され活用されている。	2.2	2.2	・特別支援学級の児童や先生の元気で明るい姿に好感がもてる。 ・教員不足、教室の配置換えが特別支援学級の充実に妨げにならないことを望む。 ・教室の数が足りず、特別教室を普通教室に使っているとのこと。ゆくゆくは支援学級が移動し、ＯＳに作られると聞いている。いろいろな面で敏感だったり配慮が必要な子どもたちだと思うので、移動にあたり、安心して生活、学習に取り組めるよう丁寧な関わりをしていってほしい。 ・引き継ぎは大切だと思うので、確実にお願いします。
		23	組織的、計画的な特別支援教育体制の確立に務めた。	校内支援体制（校内委員会の設置、特別支援教育コーディネータの指名、研修の実施等）が適切に整備されている。	2.2		
		24	関係機関と連携した相談体制の充実に取り組んだ。	医療、福祉など関係機関との連携が適切に図られている。	2.1	(2.3)	
特	特色ある教育活動	A	さわやかな挨拶の取り組みを推進した。	気持ちのよい挨拶ができる児童が育っている。	2.2	2.0	・あいさつをする子が多くなってきているように感じる。 ・日吉学区の生徒は、あいさつができる子が多い。小学校の時からしっかりとした取り組みが行われているからではないだろうか。 ・コロナの影響もあったが、あいさつはできていると思われる。 ・あいさつは次年度も継続されますか？→もちろん継続です。 ・下校時にあいさつをする児童をよく見かける。 ・登校時に子どもたち大きな声でのあいさつがあるのは本当に人間の基本として良いことだ。
		B	図書室の環境づくりと読書指導を推進した。	図書指導や学級文庫の充実を図り、読書が好きな児童を育てるために取り組んでいる。	2.1		・読書の習慣を身に付けさせる。本を読む機会、場を増やしてほしい。 ・読書活動は中学校でも課題である。そのため朝学習のあまった時間で読書を推進している。もっとするべきと感じている。 ・子ども向きのお薦めの本が提案できると良い。 ・漫画は読書に含めて良いか？もっといろいろな漫画があるよ！とオススメしたい。 ・お薦めの本を地域の人から説明文付きで紹介してもらってはどうか。
		C	外国語科・外国語活動の取り組みを推進した。	興味・関心、表現への慣れ親しみ、コミュニケーション能力の向上をめざして取り組んでいる。	1.7	(2.2)	
		D	安全・防犯・防災の取り組みを推進した。	それぞれの学習・体験活動により、知識を深め、できることにしっかり取り組む児童が育っている。	2.1		・防災教育への一助に、地域団体として参加させていただき、子どもたちの意欲的な取り組みを感じました。地域の力を有効に使っていただいた効果のある学校の取り組みと感じました。 ・防災の観点から、フリースペース等いろんな作品、備品等が配置されており、避難時の妨げになっているのではないか。 ・危機管理は幼稚園でも教師責付ける力としているが、園児も自分の命は自分で守る方法を身に付けさせていくことの大切さを感じている。 ・まちづくり協議会のかまどベンチを課外授業の一貫として大いに利用してほしい。 ・防災については地域の取り組みを知ってほしい。